

第 1 回定例教育委員会 会議録

開催月日 令和5年4月12日（水）

開催時間 午後 3 時 30 分から午後 4 時 30 分まで

開催場所 教育委員会室

出席委員 教育長 降旗 友宏
教育長職務代理者 岡部 和子
教育長職務代理者 松坂 浩志
委員 長澤 重俊、橋本 幸子

出席職員 教育次長 河野 公紀
教育監 市川 敏也
教育監 初鹿野 仁
次長（総務課長） 小林 洋一
教育企画室長 岩出 修司
福利給与課長 永井 研一
学校施設課長 白須 慎一
義務教育課長 小池 孝二
高校教育課長 萱沼 恵光
特別支援教育・児童生徒支援課長 鷹野 美香
生涯学習課長 平賀 貴久
保健体育課長 山田 芳樹
企画調整主幹 中村 隆宏
総務課総括課長補佐 齊藤 七二

教育企画室 伊藤 宏紀
働き方改革推進監
総務課 佐石 原 竜
課長補佐 河野 敏三
課長補佐 小池 涼子
主査

傍聴人 1 名

報道 1 名

会議要旨

〔 教育長開会宣言 〕

小澤委員から都合により会議を欠席する旨の届出があった。

議案第1号については、個人情報に関する案件である旨が教育長から発言され、出席委員全員が了承のうえ非公開とした。

1 議 案

第 1 号 令和5年度山梨県教科用図書選定審議会委員の委嘱・任命について

〔説明〕 義務教育課
(非公開：会議の要旨)

令和5年度山梨県教科用図書選定審議会委員の委嘱・任命について、選定審議会の設置根拠や構成人数等に関する説明、委嘱・任命する委員名簿の提示があり、全委員の賛同により原案どおり決定された。

【原案どおり決定】

第 2 号 令和5年度山梨県教科用図書選定審議会に諮問する事項について

〔説明〕 義務教育課

【原案どおり決定】

2 報 告 事 項

(1) やまなし教員等育成指標の改定について

[説明] 教育企画室

- 岡 部 委 員 3点お聞きしたいことがあります。
1点目、前は「研修」の中に「自ら学ぶ姿勢」がありましたが、これが特
だしされたのはどうしてですか。
2点目、資料内「広い視野をもって」がひらがなから漢字の「持つて」に
変わった理由は何ですか。
3点目、校長先生として必要な素養、専門性にファシリテーション力があ
りますが、校長先生よりもむしろ授業を子どもたちに教えている教員の方
に必要な要素だと思いますがその点はいかがですか？
- 伊藤推進監 まず1点目、「自ら学ぶ姿勢」いうところが以前は研修の項目だったのが
別項目になっていることについてですが、校長も教員も自ら自己改革をし
ていかなければ昨今の変化の激しい時代に追いついていくことができな
い、それくらいのスピード感を持って取り組まなければいけないと思っ
ており、それこそが校長や教員の資質能力の一部ということをより明確に示
すために、研修内容というよりも、そもそもの資質能力と考へ、一つの項
目とさせていただきます。
- 教 育 長 研修だとどうしても受け身になりがちという印象があるものですから、こ
れから自分が必要なものを学びに行くという強い意識を持つ主体的なイ
メージを前に出すということで、この言葉を入れ替えたというのがねらい
です。
- 岡 部 委 員 わかりました。
- 教 育 長 2点目の表記についてですが、確かに言葉の持つイメージというのがある
と思いますので、漢字がいいのか、ひらがながいいのか確認させていただ
いて、こここのところの取り扱いはこちらの方に一任させていただければと存じ
ます。
- 岡 部 委 員 はい。
- 伊藤推進監 3点目ですが、校長に必要な素養にファシリテーション力を明記させてい
ただいた点について、やはり近年、学校だけでは解決できない問題もあ
り、例えば地域の方や学校外部の方々と学校とを校長がしっかり繋いでい
く必要があります、そのような意味合いでこのファシリテーション力が校長に
求められている素養と考えております。
教員については委員ご指摘の通り、ファシリテーション力は教員が授業を
する上で共通のベースになっているものでありますので、今後活用ガイド
等にはそこの部分も含めて説明をさせていただければと存じます。
- 教 育 長 若干補足させていただくと、今までは教員からの一方通行のような一斉授
業が多かったと思いますが、委員がおっしゃるように、これからは子供が
授業の中心になり、先生はそれをファシリテーションする力量が必要だと思
います。
資料2枚目のところの第1ステージに「学習指導（授業実践）」という項目
があるのですが、この中に赤字で「学習者中心の授業を実践する」という
文言を入れさせてもらっておりまして、これは子供の良さを引き出した
り、ファシリテートするということを意図しております。この表だけでは
文字数の制限がございまして、十分な情報量を入れ込むことができないも
のですから、その点につきましては先ほど伊藤推進監の方から説明ありま
した「ガイドブック」を別途作っていきますのでその中で補足していきたく
いというふうに思っています。
- 岡 部 委 員 わかりました。

- 長澤委員 目指す教員像のところの部分ですが、この「自ら考え行動し、他者と協働していく児童生徒を育てている教員」と現在進行形みたいな形になっているのですが、もともと教員像なんで、育てる教員とか、そういう言いの方が収まりがいいのではないかと気がします。同じように校長の目指す姿も「信頼される学校経営を行っている」という現在進行形ではなく、行うという言いの方がよいかと思います。
- 教育長 この言い方ですが、先ほどの岡部委員からご指摘をいただいたひらがな表記にするかのところと合わせて、こちらにご一任いただければと存じます。
- 長澤委員 教員として必要な素養のところ「ふるさと山梨の未来を担う人材の育成」とありますが、この枠に入ってる他の言葉と比較して少し違和感を感じました。
また、やまなし教員育成指標の資料の1枚目は重要な箇所が赤字になっていますが、2枚目は赤字がない。入れない理由は何ですが。
そして先ほどガイドブックの話がありましたが、これがどのように現場で活かされていくのか、浸透させるための活動はどんなことを考えているのかについても教えてください。
- 伊藤推進監 2枚目に赤字がない理由ですが、1枚目の赤字の重点部分をより意識していただきながら教員が自分の中で重要だと思う部分を確認し、自分なりに視覚化をしながら活用していただきたいと考えております。
またガイドブックの今後ですが、こちらの資料をもとに総合教育センターと連携しながらガイドブックを作成し、教員の研修体系をもう一度見直していく作業にこれから入っていきます。同時に、各学校においては、当然校長会や教頭会等を通じて、まずはこの改定された資料に基づいて進んでいくという周知をしていき、そして今後各学校において、それぞれ校長と教員との間で研修目標や研修計画を立てる際の基礎として活用を進めていくものであると考えております。
- 教育長 長澤委員の「教員として必要な素養」という中に人材の育成という形があることに少し違和感があるという点については、その表現、言葉の使い方を少し考えたいと思いますので、こちらにお預けさせていただきたいと存じます。
今回の改定のポイントですが、本県の目指す教員教育として、教員主体の授業から児童生徒が主体の授業へといった要素を強めるという方向性になっています。またすべての子供の学ぶ機会をつぶさないといったメッセージ性もかなり前に出した育成指標とさせていただいておりますので、そのような点をすべての先生にご理解いただいた上で、それぞれの学校現場での指導につなげていただきたい。その上でガイドブックの作成をしっかり取り組ませていただきたいと思っております。
- 橋本委員 意見とか質問ではなく要望ですが、今まで話を聞いていて、いかに研修がこれから大事になるかということを感じました。デジタル教科書、個別的な学び授業、それから協働的な学びとか教員にとってはすごく変えていかなければならない事がたくさんあり、ガイドブックなどもうまく活用して自分が何を学びたいかなど効率的に研修ができて、なおかつ働き方改革と逆行してしまわないような研修をしていただければと思います。
- 教育長 先ほど事務方からも説明をさせていただきましたが、この育成指標を基に、ここに記載されていることが身につくような工夫を総合教育センターで行う研修の中に取り入れていく作業を今後していくこととなりますので、今、橋本委員がおっしゃったことは総合教育センターにも伝え、しっかり理解していただきながら研修の作り込みの検討をしていただきたいと思っております。

【 了 知 】

3 その他報告 な し

[教育長閉会宣言]

以 上